

八乙女

成人おめでとうございます



一隅にさざれ石あり春の宮

武田東洋子

しむぎのよびに

南山見公民館長 高瀬 顕 正

あけましておめでとうございます。みなさんお揃いで希望の新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は公民館の大改修を行っていただきました。昭和五十三年に建設以来三十年余りの歳月が流れ、あちこち傷が目立っておりましたが、各方面の温かいご配慮をいただき、改修が完成いたしましたことは誠に喜びにたえないことであります。

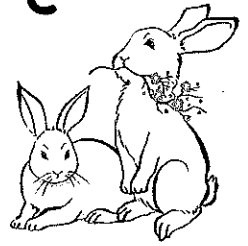
体育館の大屋根の葺き替え、玄関のバリアフリー化、大ホールの床・壁、トイレの改修など七月から約四ヶ月間を要して工事が行われ、十月末に完了いたしました。そして十一月には改修された公民館で第三十三回八乙女文化祭が盛大に開催されたことは記憶に新しいところであります。

公民館活動の先進地として先達が築いてこられた伝統は連綿と受け継がれ、昨年の公民館の利用集計によりますと、その数は実に年間延べ一万二千人に達しております。地区住民の数が約千人であることを考えると驚くべき数字であります。地区の文化・教養・健康・スポーツ活動の拠点として地区住民のみならず、この新装なった公民館がこれからはますます発展していくことに期待がふくらむばかりであります。

今年はずき年。うさぎは争いごとを好まず、穏やかな動物といわれております。さらに坂は苦手だが、上り坂を駆け上がるのが得意な動物であります。今年がうさぎのように、みんな仲良く、上り坂の年になることを願うものです。

卯年の

新年を迎えて



がんばりたいこと

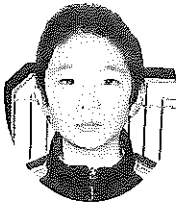
横江 樹
(平成11年生)



ぼくは、三年生からサッカー、スポーツ少年団でサッカーをしています。今年で三年目になります。練習はきびしくて、大変です。でも、みんなと一緒に試合ができて楽しいです。
こんど六年生になります。ぼくは、漢字が苦手なので、漢字をたくさん覚えたいです。

今年がんばりたいこと

山本 優翔
(平成11年生)



ぼくは、今年がんばりたいことが二つあります。一つ目は、字をていねいに書くことです。ぼくは、勉強などで、字をあまりていねいに書いていません。今度から、字をていねいに書こうと思います。そのためには、家庭学習ノートに練習したり、ふだんからも心がけたいです。二つ目は、野球です。野球スポーツ少年団に入っています。六年生になり、チームの中心となつて下級生のお手本になれるようにがんばりたいです。球拾いや、グラウンド整備など積極的に行って、チームをひっぱっていきけるようなキャプテンになりたいです。

最高学年になって

亀田 明佳
(平成11年生)



わたしは、今年で六年生になって最高学年になりました。今、管楽器部に入っていて、アルトホルンという楽器担当です。

わたしは、アルトホルンのパートリーダーです。ですが、同じパートの四年生に教えていることが少なく、しかも自分がふける曲も少ないのです。だから五年生や四年生に教えて、ふける曲も増やせるような六年生になりたいです。
そのために、これから下の学年の子に教えたり、自分で上達するように友達と教え合ったりして、カッコいい六年生になりたいです。

新年の目標

吉田 由香里
(昭和62年生)



新しい年を迎えて、二回目の千支を迎えました。
高校卒業して社会人になりました。数年経ちました。仕事に慣れることも大切ですが、慣れすぎないように初心に戻つて社会人として頑張つて行きたいです。
これからも家族や友人と旅行やドライブなどたくさん楽しみたいですね。うさぎ年なので、はねあがるものがたくさんありますように!!

喜び

岩崎 泰明
(昭和50年生)



卯年の新年を迎え、一つの節目に気持ち新たにしています。千支の一巡り十二年の間に、就職、結婚、そして三人の子どもの誕生と、めまぐるしく環境が変わりました。そして今、我が子が育つ環境として地域や生活を考えるようになってきています。
世の中には、楽をして楽しさや心地よさが得られるものがたくさんあります。しかし、ふり返つて心に残るのは、目的をもって積み重ねた成果が現れたときの喜び、人や自然とふれ合うことの喜びでした。今後の人生においても、自然と伝統の残るこの地域で、その場の樂より、積み重ねて得る喜び、人とふれ合う喜びを大切に過ごしていきたいです。

年男として思うこと

前川 源秋
(昭和38年生)

昭和38年に生をうけ、今年



で48才になり、40代をあっという間に終ろうとしており、貧しかった心が豊かな昭和の頃が懐かしく思われます。
今は物に恵まれ、大変便利な世の中になりましたが、心の無い悲しいニュースが後を断ちません。しかし南山見地区には、心豊かな温かい地域社会があります。
体力は衰えてきましたが、もう少し残っている気力で、地域活動に貢献していきたいと思えます。

夢に向かって

瀧田 豊史
(昭和38年生)



今年で五回目の卯年を迎えて今思う事と夢を書かせてもらいます。
12年前は、両親と自分の3人家族が現在、7人という大家族になり子供たちも大きくなり今は、自分と同じサッカーをやり始めています。コーチであり親であるという複雑な心境で子どもたちの成長を

楽しみにして見守っています。ただ悩みとしては、家庭に戻ればサッカー以外のふれあいが少なく母子家庭的なところがありません。休みの日に末の子に「父さん、今日サッカー」「誰の？」と聞かれると考えてしまう所があります。時間を見つけては、子供たちと遊んだり会話をすることを多くしていきたいです。

まずは、子供らに父親のサッカーしている姿を見せてやりたいということ、叶いたが今度は、一緒にサッカーの試合をやってみたいです。そのためにも最近けがとかも多くなってきたのが気になつてきていますが、体のケアをしながらか夢に向かつて頑張りたいです。

卯年を迎えて

藤井京美
(昭和26年生)



新年早々、我家に初孫誕生のうれしい知らせが舞い込んできました。ようやく、この年にして「おばあちゃん」と呼ばれるようになります、ちよつぱり老けていくような複雑な気持ちでもありません。高齢化社会といわれる

現在、元気な祖父母の方々が多くおられます。私も老け込まないようと努力していきたいと思つています。

以前、私は幼児教育の仕事をして三十六年間してきました。退職後も、時々ですがその手伝いをしていきます。子供達は、日本の宝です。そして輝かしい未来があり、夢と希望があります。いつまでも、その夢と希望を持ち続けて欲しいものです。

これからの我人生、日々健康に留意し、孫守りなどできる限りのことをしたり、好きな趣味を楽しんだりしながら夢と希望に向かつて歩むことができたなら幸せに思います。

日々是好日

林律子
(昭和26年生)



光陰矢のごとし、今年、節目の還暦の年を迎えることになりました。ふり返つてみると、私の小学校卒業・中学校入学の年は「東京オリンピック」の開催、「東洋の魔女」や「体操ニッポン」の活躍をテレビで応援していました。高校卒業の年は、「大阪万博」の開催です。

年明け早々に、南山見小学校卒業以来、約50年ぶりに同級会（女子会）が開かれ、懐かしい思い出話に花が咲き、楽しい一時を過ごしてきました。最後には校歌も合唱しました。

還暦を節目に第二の人生のスタートと考え、今まで家族周りの方々の支えで、無我夢中で走ってきた、山あり谷ありの足どりをセーブし、ゆつくりと、今までできなかったことに少し挑戦したいと思つております。

我が人生に悔いなし

松田健二
(昭和14年生)



歳をとるのは早いものであつと云う間の七

十二年間でした。若い時は青年団活動、四十才は公民館活動、文化祭や会合、夜は週一回のビーチボール、地区内でメンバーを作り汗を流し、町・朝日町、県と多くの人と出会い、数々の大会を通して仲間と交流し絆を深め楽しい時代でありました。

平成六年より部落の営農組合長として十七年間、その間に平成十七年にファーム八乙

女の設立に加わり、戸板、東城寺、川原崎、沖、院瀬見と五集落を集結し百五十町歩の農事組合法人として県で二番目の大きな組織となりました。振り返れば多くの方々に支えられ、感謝しながら今年も健康である事を願う今日このごろです。

ふり返って

長田綾子
(昭和14年生)



皆さんに温かく見守られて、七回目の卯年

を迎えることができ感謝でいっぱいです。ふり返ってみますと戦時中、物資不足の時に生まれ、母親は五人の子供を残し、三十三才の若さで病死し、本当に無念だつたと思います。私は他家で御世話になりました。幼少の頃は体も弱く何度も死にかけ、小学校も休みがちでした。それから二十数年間、どんな苦勞も厭わず、可愛がつて頂き、今は亡き養父母に頭が下ります。ただ『ありがとう』の一言につきます。時は流れ二交代勤務と農業をしながら停年まで会社勤め、その間にはたくさん喜怒哀楽と出合いました。今日まで

大病もせず過ぎせて頂き大変嬉しく感謝しております。これからは健康に留意して、少しでも役に立てる自分でありたいと願つております。

八十路の半ばの坂こえて

久恵清治
(昭和2年生)

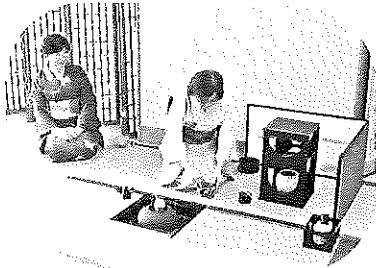
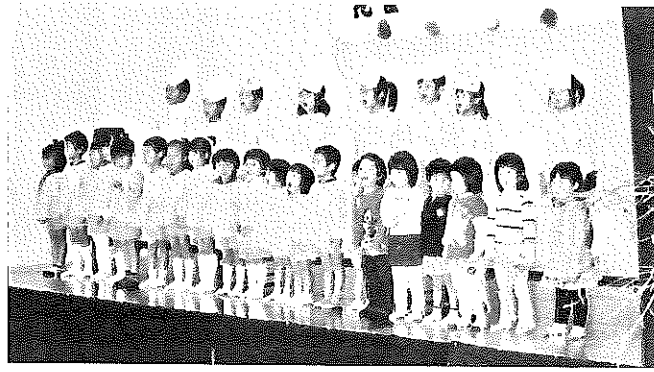


月日の経つのも早く、光陰矢の如くの諺通り、八回目の卯年を迎えました。

昔は、人生五十年と言いましたが、八十路半ばとなり、達者で新しい年を迎えられる事は、地区の皆様、先祖、家族の支援を受けて、お蔭様と感謝致して居ります。一昨年孫が結婚致し、親子、孫、三夫婦が揃つての良い年を迎えました。今年はずっと曾孫が生れるとの由何よりも親子共々、元気な顔を見たいなと、神、佛に願つて居ります。我が家にとつては、卯が又一人増え、この上もない幸福と喜んで居ります。新しい卯年も、景気も少し良くなり、穏やかである事を願い、南山見地区の発展と皆様の御多幸を心からお祈り申し上げます。

第33回 南山見地区 ハ乙女文化祭

「みんなでひろげよう文化の輪」をテーマに今年もハ乙女文化祭が開催されました。

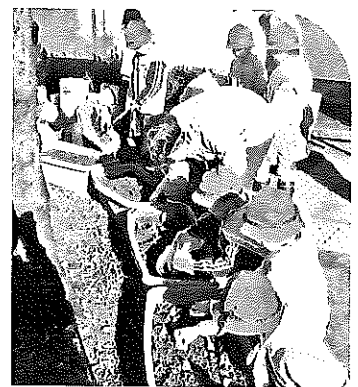


開祭式に続き、地区防災事業の一環で、井口駐在所の阿原警部補による「防災意識の高い地域づくりについて」と題した講演を拝聴しました。その後、保育園児の発表を皮切りに、各児童クラブによる発表や民謡、大正琴、詩吟踊り等々の多くの芸能自慢が澗刺と発表され会場はとても盛り上がりました。

また館内では各種団体模擬店や活動報告、作品展示、農産物の展示などが行われました。児童クラブで制作したカッパや皿などは、子供たちが気に入ったシールを思い思いに貼り、個性豊かな作品が出来ました。また農産物展示では、立派な野菜が出品されていました。少々肌寒さのある一日でしたが、天気にも恵まれ、また多大なご協力をいた



だき大盛況で幕を閉じました。
(児童クラブ 箭原幸晴)



十二月十九日に、児童クラブ・母親クラブと「井波花とみどりの少年団」で、花壇づくりとクリスマス会が行われました。好天に恵まれ、青空の下、グリーンキーパーの方々と一緒にチューリップの球根をプランターに植えました。春にきれいな花が咲くのが楽しみです。

クリスマス会ではまず、ツリーの飾り付けとケーキ作りからです。子供達は九つのグループに分かれ、食改の皆さんと一緒にスポンジケーキに生クリームとフルーツを自由にトッピングしました。初めてする子も多く、皆とても楽しそうで

花壇づくりとクリスマス会



した。個性あふれるケーキが出来上がり、それぞれ自分達で作ったケーキを食べました。それからビンゴゲームをし、数字が出る度に大いに盛り上がりました。一足早いクリスマス会を楽しみました。
(母親クラブ 川縁泰子)

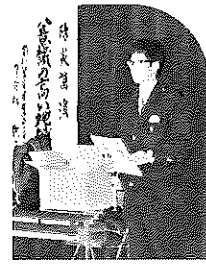


平成22年度 安心・安全な地区、南山見地区防災事業を実施して

高清水断層が活動し、井波地域でマグニチュード7・0震度6強の地震発生を想定して行いました。地区全体の訓練です。今年には特に地区として比較的平坦地とされる集落を重点対象といたしました。

地区の町内会、各種団体及びマーシ園日赤奉仕団を交えた会合を数回開催し、地震災害時の防災訓練の重要さを確認しながら協力を呼びかけました。

当日、住民は地区婦人防火クラブ員より地震発生の際を受け第一避難所へ集合、安否確認を行い、



昨年につづき、南砺市の「がんばる自治振興会応援補助事業」として南山見地区において安心・安全な地域づくりを目指し、地区住民が防災意識の高揚を図ることを目的とした防災事業3カ年計画を立案し、認可をいただき最後の年となった今年の防災訓練を10月24日(日)に実施いたしました。

地区指定(南山見公民館)の避難所へ集結、同時に日赤奉仕団の協力で炊き出し訓練も行いました。又、煙体験も実施して災害時の恐怖も感じていただけたと思います。



平坦地とされる集落の谷126名、南山見新71名、戸板96名、里領70名、川原崎85名、沖133名、マーシ園70名の安否確認とともに全住民1,142名の安否確認も行い、南砺消防井波方面団第3分団長池田喜昭様の講評を受け終了いたしました。

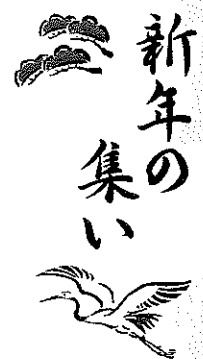
避難所備品として机、照明



用サークルライトまた、各家庭に救急用品を配布しました。防災講演会は、11月14日(日)、南山見地区八乙女文化祭に南砺警察署井口警察官駐在所警部補阿原朋紘様を講師に「防災意識の高い地域づくりについて」と題してご講演いただきました。

南山見地区には町内毎の自主防災組織は出来ておりますが、地区としての組織はまだ確立していません。この機会に取り組み、安心・安全な地域づくりを目指し、更に地区の皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

(南山見自治振興会 澤田武夫)



恒例の南山見地区「新年の集い」が一月四日午後六時から、公民館において盛大に開催されました。

今年は、竹谷井波行政センター長、才川市議会副議長をはじめ多数のご来賓をお招きし、澤田自治振興会長の挨拶で開会いたしました。

来賓の方々からは、保育園の統合問題や市民病院の耐震化など井波地域の課題解消に向けて着実に進展している報告がされた一方で、消防署を含めた公共施設の再編問題やそれに代わる地域振興策など新たな問題に直面していることなども、併せて報告されました。



また、天候が悪い日にもかかわらず予想を上回る方々に出席いただき、本年も、南山見地区住民皆様が一丸団結して送るべく誓いを新たにしました。

(事務局)



地元選出の才川市議会議員が昨年の12月から新たに副議長に選出されるなど、改めてお祝い申し上げます。



地域成人式行なわれる

一月九日、文化センターで井波地域成人式が行なわれました。南山見地区では十六名が成人を迎え、当日は十四名が出席しました。



成人の集いではスライド写真が流れ、先生との思い出などを語る場面では場内に笑い声が響いたり、和やかな雰囲気でした。今、県外に出ている若者が何人戻って来るだろうか？戻りたいと思う魅力ある地域にするには何が必要なのか、未来は若い力に掛かっている。

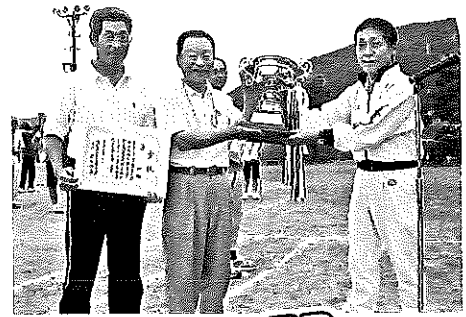
ある新聞に、「絆を生かし古里明るい」と出ていましたが、わが地域にも同じ考えを持つ若者が一人でも多く居る事を願います。

(婦人会
高橋ヒロミ)

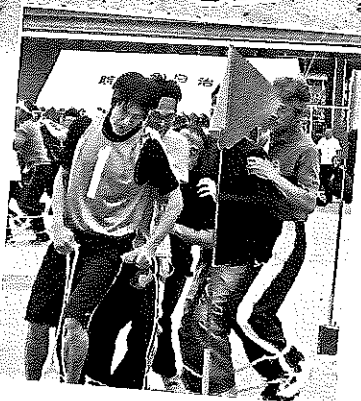


春の息吹の訪れに
白雪匂い萌え出づる
うら若草のよるこびを
歌へ もるども
吾等が命





第33回 南山見地区体育祭



第三十三回南山見地区体育祭が今年も盛大に開催されました。

近年車社会の発達で、ともすると田舎のの方が都会の人よりも体力が衰えているとも聞きます。この体育祭を通じて体力と健康の増進、維持の必要性を認識するよい機会になればという事で実施されるものと思えます。

競技は満水レースから始まり、年代別リレーまで昨年同様の種目で行われました。そんな中で我が四組チームは昨年に引き続き総合優勝するという思ってもみない素晴らしい結果となりました。特に倍点になった玉入れ競技が一位になった事で一気にチームの気運は盛り上がりました。さらには又、綱引きでは一回目、二

回目共勝つという今までにない事がおき、さらに熱気があがりました。そして年代別リレーでは惜しくも一位をわずかの差で逃がしましたが、来年に向けてのよい反省材料となりました。役員や関係者の方々の準備等の御苦労に感謝し来年も盛大に行われる様願っています。

(四組監督 朝倉俊一代理 朝倉喜八郎)

タイムカプセル埋設



十二月十九日、前回の好評を受けて、新たにタイムカプセルを公民館前に埋設しました。

当日は児童クラブのクリスマス会と重なり、子供達にも品物を持ち寄ってもらい、目の前で埋めることができました。

今回の出品者数は、老若男女合わせて約七十名と、前回に比べてやや少なめでしたが、二十年後の開封を楽しみにしておられると思います。

(市民会議 村松慶孝)



◆南山見ゲートボール部会のみなさんありがとう！

ゲートボール部会のみなさんより体育館に敷くグリーンカーペットを御寄贈いただきました。ありがとうございました。

◆ご寄附 南山見婦人会様

一、金参万円也(備品費として)ありがとうございました。

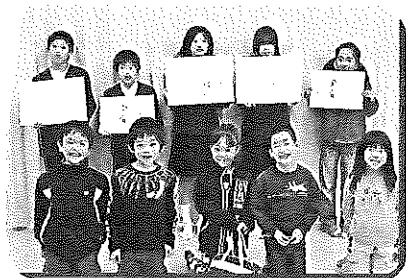


1月11日(火)年長児・年中児17名は公民館で初釜を体験しました。
 亀田・徳成先生のご指導により、待ち合所で火鉢で暖を取り、掛け軸や生け花を拝見し、湯気が立ち上がるお釜の心地さを感じながらいよいよ初釜が。本格的な初釜のために子ども達は緊張気味でも両先生の「右足から立ちましようね」「背中を伸ばして、のの字でお茶を点でてね」等優しい言葉掛けのお陰で緊張もほぐれ、和やかな新春の初釜を迎えることができました。

緊張して参加した初釜

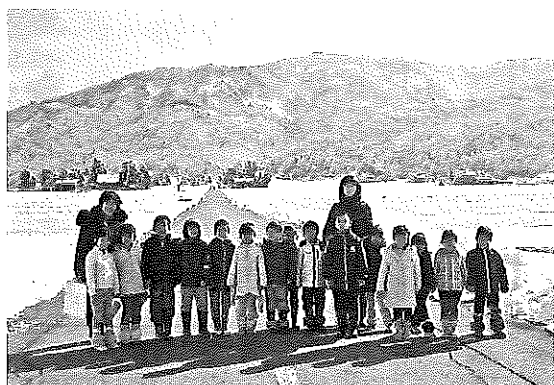


ました。
 月1回園でのお茶の練習ですが、元気な子ども達にとつて心落ち着く時間であり、一時の静寂感を味わうよい機会となっています。
 初釜の帰り道。八乙女の山々が山水画のような雪景色に思わず子ども達が「きれい！」と歓声を上げ、足は坂道を登り八



図書おめでとうコンテスト

乙女山に向けて歩き出しました。日本の伝統文化に、そして自分達の住んでいる地域の自然に十分触れることので出来た一日でした。
 (南山見保育園 斉藤俊枝)



山水先生よりピアノ

乙女山に向いて歩き出しました。日本の伝統文化に、そして自分達の住んでいる地域の自然に十分触れることので出来た一日でした。
 (南山見保育園 斉藤俊枝)

永年に亘り少年研修館ピアノ教室の山水先生が都合でお辞めになりました。その際、公民館へピアノを寄贈いただき、現在、本江先生に受けつがれピアノ教室が開かれております。八乙女文化祭の日に館長より感謝状、ピアノ教室の武田瑠美さんより花束を贈呈致しました。先生よりなつかしく思い出が語られ感激された方も多かったと思います。永年の御指導に感謝するとともに御健康を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。(事務局)



平成22年11月22日・23日に金沢市アトシアターに於て、第54回現代学生競書大会が開催され、当公民館少年研修館書道教室からも参加出品致しました。成績は次の通りです。(事務局)

秀作賞	六年 前田 真唯さん
特選	六年 徳成 百香さん
特選	五年 山田 太一さん
金賞	四年 山田 理人さん
金賞	三年 箭原 希美さん

南山見人口	
男	564人
女	583人
計	1,147人
平成22年12月31日現在	

昨年、春の長雨、夏の猛暑、比較的早い冬気候の到来に大変悩まされた。我が国の代表的作物、稲作も結果的には減収となり、私達の大切な野菜の成育にも大変な影響を与えました。今年こそ平穏な年でありませうにと、心から祈らずにはおられない。また、周囲を賑わせたクマにも、住みやすい山々が戻ることを祈りたい。(日生)

編集後記



行事予定

- 2月18日(金) 午後7:30~
公民講座「スポーツの魅力」
富山県教育委員会 田中一昭氏
- 2月27日(日) 午前9:00~
第22回 南山見地区
「三世代交流の集い」